

AUDIO BASIC

新・名機物語
フォーカル DIABLO UTOP
ルームチューニング再入門
使えるオーディオボードはこれ
2010CESレポート
USB DACでジミ・ヘン!

2010 SPRING vol. 54
オーディオ・ベーシック
特別定価 1,500円

オーディオ機器を

考えるヒント!

スモールオーディオ
テーマ別スタイルブック
音楽再現性にこだわった
ベーシックコンポーネント選び
これが私の使いこなし
テクニック!

注目製品
読者モニター募集!

CD
特別付録

心に染みる音塊!
『津軽三味線』





ヘーゲル H70

プリメインアンプ
¥262,500 / TEST REPORT by 細谷信二



■内部：大型のトロイダルコア電源トランスを搭載。デュアルモノの回路は1枚基板上にまとめられる。



■背面：最近の流れに沿ったUSB入力を装備。DAC部分は、同社の単体ユニットHD10相当という。

結論から言えば、H70の音の軸に、変わりはない。まず、通常のライン入力を聴く。ノルウェーのレインボー・スタジオ（おそらくヘーゲル社も深い関わりをもつ）で録音されたヘーゲルのオーディオ機器には、いわば「思慮深い音」「陰影の濃い、精密なテクスチャの再現」という2つの大きな柱があると思う。今回、追加されたUSB端子のデジタル入力音は、アナログ入力音と、どのように違うのだろうか。そこに、おおいに注目した。

■付属リモコン：小さいカード型だが同社CDプレーヤーなどの操作も可能。



結論から言えば、H70の音の軸に、変わりはない。まず、通常のライン入力を聴く。ノルウェーのレインボー・スタジオ（おそらくヘーゲル社も深い関わりをもつ）で録音されたヘーゲルのオーディオ機器には、いわば「思慮深い音」「陰影の濃い、精密なテクスチャの再現」という2つの大きな柱があると思う。今回、追加されたUSB端子のデジタル入力音は、アナログ入力音と、どのように違うのだろうか。そこに、おおいに注目した。

USB入力を装備し、PCオーディオに対応。透明な空間のなかに、一音、一音を入念に描き出す

デジタル入力付きアンプ
ノルウェーのヘーゲルは、録音スタジオ機器の開発・製作を主軸とした会社で、当然のことだがスタジオにも最新の高度なデジタル技術や機器が取り入れられている。本機は同社のD/AコンバーターHD10と同等の回路をもちUSB入力（32kHzから48kHzに対応）を装備している。

H70は同社の一体型アンプの中では最も小出力だが、独自のFETアンプ回路技術は本機にも導入されている。

- 出力：70W+70W (8Ω)
- 入出力端子：ライン4系統 (RCA×3, XLR×1)、デジタル入力3系統 (RCA同軸、TOS光、USB)、スピーカー出力1系統
- 寸法・重量：430W×100H×420Dmm
- 11.84kg
- 備考：リモコン付属

深い音だ。「惑星」のオルガンの超低域も雑味のない澄んだ音色だ。

USB端子での音も聴いたが、やはりS/N感の高い、澄んだ音場と明快な音の定位感をもっていた。